

2017-2018年度



第2570地区

行田さくらロータリークラブ週報

国際ロータリー第2570地区ガバナーテーマ

「RI戦略計画を皆で一緒に実行しよう!!」

ロータリー：
変化をもたらす

ガバナー 細井 保雄

会長方針

「おかげ」に報いる奉仕を

会長 藤倉 武

会幹編 長事集 藤川 梁 神渡 時今 倉野 瀬 田 辺 田 津 武 人 司 健 里 出 日 昭 忠 聖 之 助

事務局 埼玉県行田市行田5-10
スリーハートビル3F
電話 048 (564) 3000番
例会日時 火曜日12:30~13:30
例会場 行田市持田2792-1
電話 048 (553) 3770番
URL <http://www.tvg.ne.jp/s-rotary/>
撮影：丸墓山のサクラ
印刷：マツオカ印刷株式会社

第2082回 (11月7日) 例会報告

*点 鐘 藤倉 武 会長

*ロータリーソング 奉仕の理想

「ロータリーとは何ですか？」

ロータリーを他人に告げる歌

* 4つのテスト唱和

* 来訪者紹介

・ものづくり大学 学生課 厚生係長 斉藤吉匡様

・ものづくり大学 学生課 厚生係主任 加藤大樹様

・ものづくり大学さくら奨学生

・製造学科 4年生 山本 椋さん

・建設学科 4年生 茂崎 凌子さん

・製造学科 3年生 成田 壮一さん

・建設学科 3年生 戸邊 ころろさん

* 会長報告 藤倉 武 会長

* 幹事報告 川野 健人 幹事

* 次年度役員理事候補者発表

時田 忠彦 会長エレクト

* 結婚記念日祝

藤倉武会員 松岡罔男会員 前澤忠会員

田中利幸会員 佐藤純也会員 阿部秀二郎会員

* 誕生日祝

長谷川博会員 田邊弘司会員

* 出席状況報告 飯塚秀司 委員

* ニコニコ報告 江口 明 委員

* 委員会報告

「ロータリーの友」読みどころ紹介

ロータリー雑誌委員会 前澤忠委員長

* 卓話

ものづくり大学 さくら奨学生卓話

・ものづくり大学 学生課 厚生係長 斉藤吉

・ものづくり大学さくら奨学生

・製造学科 4年生 山本 椋さん

・建設学科 4年生 茂崎 凌子さん

・製造学科 3年生 成田 壮一さん

・建設学科 3年生 戸邊 ころろさん

*点 鐘 藤倉 武 会長



会長報告



藤倉 武 会長

ものつくり大学より6名の方にお出でいただき卓話を頂戴いたします。若い学生の皆様が集う学び舎は、私たちには遠い過去であります。最近の大学のご様子、学生生活のお話をお聞かせいただければ幸いです。よろしく願いいたします。

さて、次々回11月21日は、職業奉仕委員会による八ッ場ダム見学会です。未だ席に余裕が有ります。是非、参加をお願いいたします。無料です。

私は以前もう30年以上前になりますが、水上の奥、八木沢ダムとは別の利根川の支流、奈良俣川の奈良俣ダムの建造現場を見学したことが有ります。このダムは、ロックフィルダムといって、岩を積み上げてダムを造っておりました。その湖底となる部分をバスで走行したことが有ります。

今回の八ッ場ダムは、重力式コンクリートダムで、高さ116米、幅291米、ダム体積911,000立方米、貯水量1億1千万トンで2020年完成予定です。

昨日、11月6日、下見に遠望ではありますが、行ってまいりました。洪水時にダムに貯めた水を下流へ調整しながら放流するための放流管が取り付けられていました。

両側が山でダムは大きく感じられませんが、働いている人や、車輛の大きさと比較すると、その巨大さに圧倒されます。周囲の紅葉も見事でしたが、11月21日は、ちょっと遅いかもかもしれません。

我々が生きている間に何度も見られる建設現場ではありませんので、ぜひ多くの方々の見学会参加をお願いいたします。ありがとうございました。

幹事報告



川野 健人 幹事

幹事報告をします。

11月3日金曜日文化の日に、日本スリーデーマーチがありますノエルも参加しましたが、予定の10キ

ロとお聞きしていましたが、12、13キロ歩いたようで、ノエルが、ぐったりしておりました。

昨日、第一回、地区大会準備会がありました。大変お疲れ様でした。

本日、理事会がありました。

12月プログラムの件、藤倉年度年次総会の件、次々年度会長予定者選出の件、次年度役員及び理事選出の件、クリスマス望年会の件、RC3クラブ賀詞交歓会の件、第43回行田市菊花展の賛助金の件の議案が承認されました。

今後の予定です。

来週の例会ですが、社会奉仕委員会によるタブレット贈呈式です。こちらは、16日木曜日、朝早い時間となっています。朝9時30分から熊谷特別支援学校となります。意外と朝の時間帯のため、行田から車で40分程度見ていただければ幸いです。

また、支援学校でお伝えする時間がないと思われまです。ここでお伝えします。

11月18日土曜日13時登録のイトピアで、地区フレッシュロータリアン研修があります。

対象の方は、ご参加よろしくお願ひします。

以上幹事報告でした。

次年度役員理事候補者発表



時田 忠彦 会長エレクト

結婚記念日祝



藤倉武会員 松岡罔男会員 前澤忠会員
田中利幸会員 佐藤純也会員 阿部秀二郎会員

誕生日祝



長谷川博会員 田邊弘司会員

出席状況報告

飯塚秀司 委員

会員数	出席対象者	出席者	メーキャップ	出席率
51名	47名	31名	0名	66%

ニコニコ報告

江口 明 委員

藤倉会長 ものづくり大学より齊藤様、加藤様、成田様、成田様、山本様、戸邊様、茂崎様、ご来訪ありがとうございます。11月結婚祝いを頂きました。49回目です。

川野幹事 本日は、ものづくり大学奨学生の皆様宜しくお願ひ致します。なかなか一句が出なかったのですが、何とか一句「若者の 志す道 みんなの夢」

細井ガバナー ものづくり大学の皆様スピーチ楽しみです。今後のご活躍をお祈りします。

清水会員 来会の皆様を歓迎いたします。

松岡会員 ものづくり大学の学生の皆さんようこそ。結婚祝いありがとうございます。

長谷川会員 誕生日祝いありがとうございます。

横川会員 ものづくり奨学生の皆さん、将来に期待しております。

田邊会員 今年64才のようです。「還暦を4年経るとは気付かねど、冬の初めに驚かれぬる」本日立冬とかや、還暦過ぎれば皆同じという感じなり。

矢澤会員 ものづくり大学のみなさん、ようこそ。卓話楽しみにしています。

新井会員 先週の例会で花束を頂きありがとうございました。

ものづくり大学奨学生の皆様、本日はようこそ！卓話楽しみにしておりました。よろしくお願ひします。

前澤会員 結婚祝い有難うございます。

島崎会員 大評判の東京国立博物館の「運慶」展に行ってきました。流石に凄い迫力です。なぜか仁王様の一体が矢澤さんに似ています。これからはばら夢に出てきて、うなされそうで大変怖いです。

阿部会員 ものづくり大学の学生の皆さん、本日のスピーチ楽しみにしておりました。緊張しないでゆっくり話して下さい。

半田会員 我が家の一息子との会話「おまえ、そろそろ試験だろ！少しは勉強しろよ！」息子「もう終わったよ！」

五十幡会員 本日は、ものづくり大学さくら奨学生の皆様の卓話楽しみにしておりました。さくら奨学金を有効に活用して学業に励んで下さい。

橋本祐一会員 生まれて初めて中耳炎になり耳の中に「わた」を1日中詰めるだけでこんなに辛い事になるとは思いませんでした。少しでも体調の悪い人、病気の人をいたわらなければならないと思いました。

宮本会員 本日は、さくら奨学金の卓話です。皆様、宜しくお願ひ致します。

佐藤会員 最近、小学生の双子の娘達が夜出掛けると「今日もロータリーなの？」と聞きます。ですので「今日はロータリーだよ」と言います。子供たちは夜家にいないと「ロータリー」と思っています。

同文～ ものづくり大学の皆様スピーチ楽しみです。今後のご活躍をお祈りします。

戸ヶ崎会員 神田会員 橋本恭一会員 田中利幸会員 田島会員 倉持会員 春日会員 大谷会員 時田会員 梁瀬会員 高橋会員 早崎会員 江口会員 飯塚会員

委員会報告



「ロータリーの友」読みどころ紹介

ロータリー雑誌委員会 前澤忠委員長

1 1月号

P3 私たちの奉仕の成果である財団

P7~11 インターアクターと連携する

P12~19 私たちの目標：ポリオのない世界

P24~25 米山記念奨学事業50年のあゆみ 前史

P36~38 エバンストン便り

2019-2020年度RI会長にマーク・ダニエル・マローニー氏 会長ノミニ

国際大会トロント周辺の見どころ

卓 話



ものづくり大学 学生課 厚生係長 斉藤吉匡様



ものづくり大学さくら奨学生

製造学科 4年生 山本椋さん

「将来の展望と奨学金の使い道について」

私は今年でこのものづくり大学に在籍し、四年がたちました。来年から社会の一員として働いていきますが、自分自身の将来についてこの機会に考えてみました。現在、特殊作業車のメーカーへ就職が決まり、今後は自分の能力を生かして社会を支えていけたらと思っています。もともと人の役に立つものづくりの技術を身に付けたいと考え、ものづくり大学へ入学しました。3年次のインターンシップでは、医療機器メーカーへ参加させていただきました。そこでは製品検査や開発の部門での仕事を体験させていただき実際に自分の手で作業をすることで、社会に出て、購入する側から製造・販売する側になる上で重要な心構えを学ぶことができました。これらの経験から、人々の生活に近く関わる仕事に就きたいと考え、特殊作業車メーカーへの就職を決めました。

これから先、社会に出て、働く中で必要だと考えることが二つあります。

一つ目は、社会で負う責任感です。社会人としての義務も多くありますが、企業などに入り、お金を得ることでの責任があります。学生の時、行動するうえで起きた問題は自分自身で考え解決することができましたし、問題発生時に影響が出るのはごくわずかでした。しかし、しかし、社会に出て行動した時に発生した問題は、自分だけでなく企業にも影響し、利益や時間、また問題の規模も大きくなります。学生の時には目立たなかった利益などのお金の問題など、自分の選択や行動が周囲に対して大きな影響力を持つようになって考えています。実際に入社してからでなければ責任を実感するのは難しいと思いますが、意識を変えながら行動を決めていく事で、今後問題に対応する際の心構えを学んでいこうと考えています。

二つ目は、コミュニケーション力です。社会に出ると学生時代よりも広い世界で、多くの人と関わりあうこととなります。その中には自分が苦手と思うタイプの人にも含まれることとなります。自分の上司や同期、プロジェクトのグループや会社の顧客など、今まで以上に人との繋がりが増えていき、様々な人と会うこととなります。学生の時には自分と合う人たちとグループを組んでいれば良かった事も、社会に出れば相手を選ぶことは難しくなります。相手によらずお互いの主張や意見を交わしあえる円滑なコミュニケーションをとれることが理想ですが、簡単には出来ないと考えています。より良い関

係を築くためにも、多くの人との関わりを経て相手の理解をしていこうと考えています。

将来の展望として、今の学生時代から、自分がどのような影響を与えるのかを意識すること、相手をより理解することで自分を変えていこうと思っています。私はものづくり大学で多くの事を経験してきました。これからの将来には不安もありますが、学校やこの街で経験してきたことは必ず自分の力になると考えています。

最後になりますが、このたびは「ものづくり大学さくら奨学金」を頂き、大変うれしく思います。使い道については学費の一部とさせていただきます。おかげさまで充実した学校生活を送ることができました。ありがとうございました。



ものづくり大学さくら奨学生

建設学科 4年生 茂崎凌子さん

大学で最も力を注いだこと

ものづくり大学建設学科4年、茂崎凌子です。今年度のさくら奨学金奨励学生に選んでいただきありがとうございます。大変うれしく思っております。いただいた奨学金は卒業後の社会人スタート資金として使わせていただくことにしました。私は現在、たくさんの人の支援もあって無事に就活を終え大和ハウス工業株式会社の設計部に内定を頂くことができました。春からはものづくり大学の卒業生として誇りをもって社会に貢献していきたいと思っております。

私が、ものづくり大学に進学して最も力を注いだことは建設に関わる実習の授業です。入学当初から将来は設計職に就きたいという夢があった私は、設計の授業や座学に力を注ぐことは勿論ですが、意識して力を注いだことといえば実習の授業でした。

設計とは建物を施工するために行うことであるため、設計職に就くにしろ学生のうちに少しでも建設現場のことを知ることはいつか必ず設計に役立つという思い

で過ごしました。中でも2年次の鉄筋コンクリートの構造物の設計から施工まで行う実習の授業が印象に残っています。その実習で私は実際に施工する構造物の設計者として班のリーダーとなり行動しました。設計図面作成時にはデザイン性は勿論のこと、鉄筋の配筋はこれで良いか、コストはどうか、部材の量はどれくらい必要か、など実際に施工することは可能かという面までよく考え設計し、結果として自信の作品が実習で施工される作品に選ばれました。施工実習では、前日にもう一度図面を見直し施工の工程順を頭に入れておき予定通りに施工実習が進むことを一番に考え指示しました。完成後、自分の設計した構造物が実際に完成したのを目にするのは、当たり前のことですがとても嬉しかったことを覚えています。

数多くの実習を経験してきたため一つの例だけを述べましたが、どの実習でも言えることが“頭で考えていることと実際に見たりやってみたりすることには違いがあること”と“失敗の可能性を知ることが出来た”ということです。実習中には思いがけない事が発生したり、またそのことに臨機応変に対応する必要がありました。これらの学びはインターンシップや就職活動でも活かすことが出来、他大学の生徒と関わる際には特に実感しました。

私は本学で建設業界の仕事の技術を幅広く学べたことを誇りに持って、社会に出ていけると思っています。入学当初、まだ建設について何も知らない自分が掲げていた目標のひとつは“ものづくり大学をでたことを誇りに思えるような日々を過ごそう”ということでした。いま、それが実現していることを感じ不思議な気持ちと嬉しい気持ちでいっぱいです。あの頃描いていた将来の夢と、今の現実が違ってきている部分もありますが、それも全て全力で考え・悩んできた結果であるため何も後悔はありません。残りの4年生としての一年間は集大成。受け身の卒業研究ではなく探究心を持って取り組みものづくり大学での成果としたいと思っています。

最後になりますが、さくらロータリークラブの皆様、大学関係者の皆様に深く感謝します。本日はありがとうございました。



ものづくり大学さくら奨学生

製造学科 3年生 成田壮一さん

ものづくり大学製造学科3年、成田壮一です。今年度のさくら奨学金奨学生に選んでいただき、ありがとうございます。今回いただいた奨学金の一部は、自身が参加している、大学の課外活動である学生フォーミュラの遠征費として利用し、残りは今後の就職活動に利用しようと考えております。

私は現在、学生フォーミュラプロジェクトのチームリーダーをやらせていただいております。学生フォーミュラプロジェクトとは、フォーミュラスタイルの小型レーシングカーを学生が主体となって、車両の企画、設計、製作、評価をおこない、例年9月に行われる全日本学生フォーミュラ大会に出場しているプロジェクトです。大会では製作した車両の走行性能だけでなく、車両を設計するうえでのデザイン性や製作にかかるコストの管理、作製した車両をどのように販売していくかのプレゼン審査等、ものづくり全体を通しての総合力の評価がなされます。

私は大学一年次に、大学に置いてある様々な加工機、設備を使えるようになりたいと考え、このプロジェクトに参加し、活動を行ってきました。プロジェクト参加当初は、旋盤やフライス盤を用いた簡単な部品の加工から始め、それら汎用工作機械が使えるようになってくるとマシニングセンタやレーザー加工機等新しい加工機に積極的に挑戦してきました。加工機の扱い方を理解した後は、様々な部品の製作を行い技術の向上に努め、現在では、車両の性能を決めるうえで重要な部品の製作を行わせてもらえるようになりました。また、部品の設計を行う為には、その部品の機能や機構を理解することが必要です。しかし、自分は車というものに殆ど興味を持っていなかった為、自動車がどういう構造、仕組みで動いているのか全く分かりませんでした。その為、プロジェクト参加後に一から車に用いられる機構やそれぞれの

部品の役割を勉強し、自動車に対する理解を深めていきました。その甲斐あってか、大学二年次に冷却系の部品の担当になり、その年の車両に自分が設計した冷却システムが使用されました。2016年度の大会終了後、新しいチームのリーダーに就任し、活動を開始しました。リーダーとなってまだ日は浅いですが、書類の提出やスポンサー周りの挨拶、予算や日程管理等の仕事が多く、車両の製作だけを考えていられた今までより遥かに忙しい日々です。また、自分がそれらの仕事に追われてしまい、今後は車両製作の方にあまり関われなくなってしまうことも考え、車両製作が本格的に始まる前に後輩達へ加工技術の指導も行っていかなければならないと考えています。今年度の車両はエンデュランス競技でリタイヤという結果で、全競技完走を果たすことが出来ませんでした。来年度は、全競技完走を果たし悔いを残さないようにしたいと考えます。

現在、大学三年次ということもあり、年明けから就職活動も始まります。自分の今後を左右する重要なことであり、こちらも手を抜かず取り組んで行きたいと思えます。自分は先ほど話したように、自動車に興味を殆どありませんでした。三年間の活動で車両を作り走らせることの楽しさを経験でき、入学当初に比べ知識も増え、その分野に対する興味も湧くようになりましたが、自分は農機関連の企業へ就職したいと考えております。自分の家は農家をやっており、その作業の大変さは身に染みて理解しており、それらの一助になればと考えております。学生フォーミュラの活動で製作していたものと少し違う分野に進もうと考えておりますが、ものを作るうえでのコミュニケーションの重要性、納期を守ることや効率よく作業を進めるノウハウ等、この活動を通して学んできたことはどの分野に進んだとしても生きてくことだと思っております。また大学の授業では製造技術や生産管理分野について勉強してきました。それら、今まで自分が行ってきたことに自信を持って就職活動を行い、自身の望む分野に就職し、社会に貢献できるようになりたいと思えます。

最後になりますが、さくらロータリークラブの皆様、大学関係者の皆様に深く感謝し、謝辞とさせていただきます。本日はありがとうございました。



ものづくり大学さくら奨学生

建設学科 3年生 戸邊こころさん

ものづくり大学建設学科3年戸邊こころです。今年度の奨学生に選んでいただきありがとうございます。頂いた奨学金は商業施設土補と積算土補の資格取得費に使用しました。これからフォーク、玉掛けなどを取得する予定です。

私がものづくり大学で力を注いだことは技術力を多く身に付けることです。幅広く体験したい気持ちが強く、入学を決めました。3年間その気持ちは変わらず、幅広い種類の授業で知識と行動力を身につけてきました。資格取得出来る授業が多くあり、現在は、溶接免許と積算土補を授業内で取得しました。来年、40日間のインターンシップに行くので、インターンシップ前に測定の知識を増やして臨みたいです。

入学してすぐに足場を建てる授業があります。技術を他に应用できたので印象が強い授業です。実家には祖父が私のために足場材で建ててくれたブランコとうんていがありました。兄弟共に成長したので庭を、より素敵なものにする計画を立て、ブランコを解体する事にしました。亡き祖父が建てたものへの感謝から1人で解体しました。週末は家族揃って雑草抜きや固まる土で整備を進めています。

授業外活動では家具サークルに所属しています。木材で温かみある家具を作りたい思いから入りました。最初はマグネットや鍋敷きなど雑貨程度の技術力でした。先生や先輩方に木工機械の使用法、合宿で家具職人さんから接合を教えていただき、スツールを作れるようになりました。毎年10月末の大学祭で製作物を販売していましたが、今年は納得のスツールを自信持ってお店に並べることができました。今年の大学祭で引退が決まっていたので、春から1年生には家具接合を教えてきました。

このように授業と学外活動で木工機械、コンクリート試験機など、多くの機械に触れて知識と技術力を身につけてきました。

今年の夏に研究室選びがありました。授業で木材、鉄材、コンクリートに触れて1番興味が強かったコンクリートを選びました。これから力を注ぎたい事は、研究室で多くの知識と技術力を身につける事です。すでに研究室実験に参加し、先輩方と先生からコンクリート試験について教えて頂いています。同時に就職活動にも、持ち前の集中力で取り組みたいです。

ご清聴ありがとうございました。



宮本伸子 会員



記念撮影